

子育てと暮らしを 地域で支え合う まち

すべての家庭が安心して子育てでき、子どもたちが笑顔で成長していくため、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を目指し、児童センターなどの身近な場所ので気軽に相談できる拠点づくりを進めるなど、子育てしやすい環境を整え、「若い世代に選ばれるまち」としていきます。

増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対応するため、小規模保育事業を進め、待機児童の解消を図るとともに、病氣中または病氣回復期の子どもを一時的に預かる病児保育事業の開始に向け、半田病院南棟の改修を行います。

市立保育園においては、4・5歳児の保育室等に空調機を順次設置し、保育環境の向上を図ります。

身体に障がいのある就学前

の児童通所施設については、4月からつくし学園の機能を拡充し、身近な場所での児童の発達を支援していきます。

また、ひとり親家庭の自立を支援するとともに、子どもの生活・学習支援事業などを実施し、子どもの貧困対策に取り組んでいきます。

中学生の通院医療費に係る助成は、市の窓口で申請する償還払いから、医療機関での支払いをあらかじめ減額する現物給付方式に変更し、保護者の負担軽減を図ります。

国民健康保険については、保険税の収納率の向上と特定健診の受診率向上等による医療費の伸びの鈍化に加え、国・県からの補助金拡充や安定運営のための基金が確保できていることから、国民健康保険税率の引き下げを実施します。

高齢者福祉では、地域包括ケアシステムの構築を進め、「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、認知症デイサービスや看護小規模多機能型居宅介護の開設に向けた準備を進めます。

市民の皆さんの健康づくりを推進するため「まち歩き」をテーマに歩くことの習慣化



を図り、まち歩きコースコンテストやウォーキングイベント等を開催します。

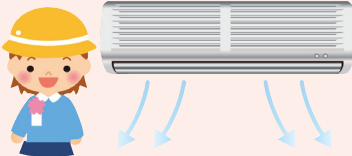
市立半田病院では、地域医療の要である救急医療や急性期医療を中心に、第2次半田病院改革プランに基づき、引き続き病院経営の健全化に取り組みとともに、地域の医療機関との連携強化に努めます。

新病院構想については、外部の有識者等による「あり方検討委員会」での意見を踏まえ、より良い医療を提供するため新病院の建設に向けて、具体化を進めていきます。

保育室にエアコンを設置 市立保育園空調機設置事業

予算額 3,488万4千円

市立保育園の4・5歳児の保育室に空調機（エアコン）を設置し、夏季における保育環境の向上を図ります。



3歳未満児の保育ニーズへの対応のため 地域型保育事業

予算額 6,582万3千円

子ども・子育て支援新制度において創設された小規模保育事業を実施し、増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対応することにより、保育環境の拡充を図ります。

平成29年度からの開園に向けて 病児保育施設整備事業

予算額 2,425万2千円

病氣中または病氣回復期の子どもを一時的に預かる病児保育事業を平成29年4月から実施するため、半田病院南棟を改修し、保育室と静養室等を整備します。

歩いて健康な体づくりを 健康なまちづくり事業

予算額 79万7千円

「まち歩き」をテーマにウォーキングコースの公募・選定やウォーキングイベントを開催し、歩くことの習慣化と健康づくりを推進するとともに、より多くの人がまちを歩くにぎわいのあるまちづくりを進めます。

